

令和 2 年 4 月 20 日

## 令和 2 年度リサーチ・アシスタント (RA) 募集要項

### 「新規がんゲノム異常の検出パネル実装に向けた研究プログラム」

研究責任者：鈴木 穰（大学院新領域創成科学研究科 教授）

#### 1. 趣旨

これまで、次世代シーケンス技術の発展により、がんゲノムのシーケンスプロジェクトが世界的に急速に進んできた。がんの発生や進展の原因となるゲノム変異は数多く報告され、それに対応した分子標的薬が治療効果をあげている。一方、近年ロングリードシーケンス技術の活用により、従来の次世代シーケンス技術では検出が難しいゲノム異常（構造異常・リピート領域の変異等）が数多く発見されている。より多くの症例におけるゲノム異常をカバーするためには、こうした新しいタイプのゲノム異常を検出するための一連の実験手法を開発する必要がある。本研究プロジェクトでは、アジレント・テクノロジー社との共同研究により、新規がんゲノム異常を含む検出パネル開発のための検討実験を実施している。新規シーケンス技術を駆使した実験および情報解析の両面から、この目的に適合した研究を推進するリサーチ・アシスタント (RA) を募集する。

#### 2. 応募資格者

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻の博士後期課程に在学する学生で、本研究プロジェクトに適合したがんゲノム研究を行っており、関連した研究業績を有する者。日本学術振興会の特別研究員に採用されている者や国費留学生は応募資格を認めない。その他の RA 経費の支援を受けている者の申請は認めない。委嘱期間中、休学を予定する者は申請できない。

#### 3. 採用人数、委嘱期間および月額

- I. 採用人数：1 名
- II. 委嘱開始日は、月の初日からとし、終了日は月の末日とする。また、委嘱期間は、当該会計年度を超えない範囲とする。
- III. 研究業務単価：月額 8.8 万円（参考：日本学生支援機構大学院修士課程相当第一種奨学金）
- IV. 研究業務月額単価の支給については、当該委嘱月の翌月とする。

#### 4. 職務上の義務

リサーチ・アシスタントに委嘱された学生は、研究の遂行にあたって、授業・研究室活動

等に支障のない範囲で行うものとする。委嘱された研究の進め方などについては、担当教員（鈴木穰 教授）と密接に協議し、定期的に進捗報告を実施する。委嘱終了時にはリサーチ・アシスタント研究業務終了報告書（様式2）を提出する。

※ 新型コロナウイルスによる影響を鑑み、委嘱された学生は、大学・研究科の定める指針に則り、研究を推進する。在宅でのリモートワークとなる場合は、定期的担当教員とウェブミーティング等を行い、進捗報告を行う。

## 5. 応募方法

リサーチ・アシスタント研究業務計画書（様式1）に必要事項を記入し、応募書類を添付して下記応募先へ電子メールで送付する。計画書には関連する研究業績の記載も含める。また、本応募には指導教員の許可を必ずもらい、指導教員から本 RA 担当教員へ連絡してもらうように依頼する。

## 6. スケジュール

応募締切：令和2年4月29日

選考方法：担当教員による書類選考

採用予定日：令和2年6月1日

## 7. 問い合わせ・応募先

〒277-8561 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 新領域生命棟 301

東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻

生命システム観測分野 教授 鈴木穰

Email: ysuzuki@edu.k.u-tokyo.ac.jp

電話：04-7136-4076

FAX：04-7136-3607